



令和6年2月号

「QOL（クオリティ・オブ・ライフ）」

私は、昔から読書が好きで古典文学からマンガまで、形態やジャンルを問わず何でも読んでいます。最近では時間も無く、紙の本を読む事が少なくなって来たのですが、時間が出来ると電子書籍やネットニュースなどで情報を入れる様にしています。

福祉の仕事をする様になってから、様々な障がいがある方を身近に感じる様になり、皆さんがどの様に生活をしているか想像する様になりました。街中に居る時にもふとした時に考える事も多いのですが、近年は色々な場所でユニバーサルデザインを意識した表示や建物、施設を多く見かける様になっています。

私自身は手話や点字をちゃんと勉強している訳では無いので、実際に使いこなす事は出来ませんが、点字の事を知りたいと思い日本点字図書館へ行く機会がありました。日本での点字の歴史や点字図書が出来るまでの工程が学ぶ事が出来ました。また、日本点字図書館に近い場所にある「ふれる博物館」では、美術を触れて楽しむ作りになっており、様々な形で美術・芸術を楽しむ事が出来る様になっています。

「見えないからこそ いっそう知りたい」
知る事の大切さや人間が本質的に持っている「知りたい」「学びたい」「成長したい」という欲求が表されている言葉です。

私が様々な特性の方と関わる中で、その方のQOL（クオリティ・オブ・ライフ＝生活の質）をどう高めて行くのかは一つの大きなテーマとしてあります。生活の質と言うと日常身の回りの事に焦点を当てられる事が多いですが、それだけでは無くその他の「私生活」「余暇」など「余白」が大切だと考えています。様々な障がいや特性を持つ方々が、「余白」を大きくして行く為に色々な分野にアクセスが出来る様な取り組みや、手段の獲得に少しでも関わる事が出来ればと思います。

点字図書館一覧

<https://www.mhlw.go.jp/content/001151545.pdf>

社会福祉法人 日本点字図書館

<https://www.nittento.or.jp/index.html>

ふれる博物館

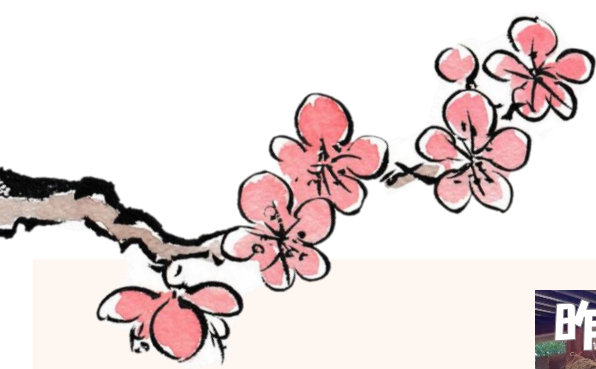
<https://www.nittento.or.jp/about/fureru/index.html>

テルミ 手で見る学習絵本

<https://faje.or.jp/terumi/index.html#news>

児童通所課 嵯峨憲司





1月活動報告

MJのお正月

今年も1部総出で初詣へ！
「北野天神社」と「熊野神社」
へ参拝に向かいました。

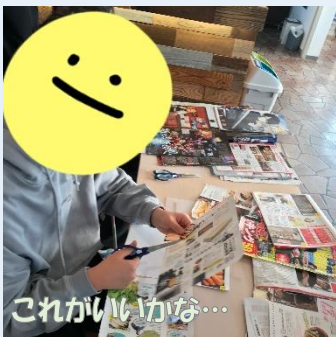
熊野神社近くの足踏み健康
ロードを歩き、心身ともに健康な
スタートを切りました。

MJに戻ってからは正月遊びと
して、巨大福笑いをして過
ぎしています。作り手は目隠しをし、
周囲の声だけを頼りにひよっとこの
表情を作ります。

また、お正月を過ぎた最後の
冬休み、8日はカルチャーパーク
で過ごしました。見てるだけでも
ヒヤヒヤするジップラインを見事
に乗りこなしました。



(水)作業プログラム



3学期最初の作業プログラム
は「オリジナル・ビンテージク
リアファイル」です。
雑誌をA4用紙へ自由に切り
貼りし、クリアファイルに転写
します。



2部の活動紹介



1部や祝日プログラムでも調理をしましたが、今回
は2部活動内でオムライス作りに挑戦。
レシピ作成から開始し、買い物して実践しています。
料理以外にも「こんなことやってみたい！」があれば、
ぜひスタッフに相談してみてください！

